

学校の常識、社会の…!?

最近、ちょっと気になること

2020.01.15

No.86

校長 渡邊 幸二

昔は、先輩方といったん社会人として企業等にお勤めになられた後、教員の道に進まれた方がけっこうおりました。私はそういう経験はありませんが、2年間、学校とは全く違う世界(=組合)で過ごすという機会に恵まれました。辛い2年間ではありましたが、学校という存在を外から見るといって、本当に貴重な経験をさせていただいたと思っています。



あいさつ、できていますか？

組合にいる間、「分会訪問」といって、組合員のいる学校をよく訪ねました。たいがいは職員室に行くのですが、何回か訪問していると、「失礼します。教職員組合です！」と言って扉を開けた瞬間、その学校の良し悪し、というか雰囲気はわかってきました。よくみなさんが、あるお店を訪ねたときのその空気が読めるという感覚と同じだと思います。

私が職員室に入った瞬間にキャッチしている情報というのは、

- ① 職員室にいる職員の表情
- ② あいさつの声のトーン
- ③ 何とも言い表しがたい空気感

だと思います。

①や②では、やはり仕事中でも顔を上げて、明るい笑顔で「こんにちは！」の声がどれくらいあるかが大事だと感じています。浜田小学校にもいつも明るくあいさつを返してくださる先生方もいれば、残念ながらそういうことが身につけていないのではないかなと思える方もいます。最悪だなと感じるのは、机に向かってパソコンとにらめっこのまま顔も上げない方がいる職場です。また、誰かとの会話(仕事上と思うのですが)を私の目の前で続け、ちらりともこちらを見ない、あいさつができない方がいる分会でした。

「あいさつができる」ということは、どんな来校者であっても、「明るいトーン」「笑顔(少なくとも怒り顔でない)」のあいさつができることです。よく新聞の投書欄にも“あいさつを子どもに教えている先生が、あんなあいさつしかできないとは…”とお叱りの声があります。社会の常識に照らし合わせれば、まさしくそうだと思います。そういう目で我々は見られているということを理解し、身につけてほしいと思っています。

私たち教師は、子どもの中の“お山の大将”という感覚になりがちです。ですから、中にはお客様に対して横柄になったりつけんどんな態度を取ったりしてしまうでしょう。「実るほど 頭を…」です。どんな方にも気遣いができることは、保護者対応でもその力は発揮され、やがてクレームも皆無となるでしょう。また、たとえ子どもに対してでも、人権が保障され、厳しくもあたたかな指導が可能となるでしょう。

上司への礼儀

※口頭でお伝えします。

出退勤時、出張、年休…

(飽海地区は、昔からあまりできない地域でした)



報・連・相

このお話は、市内のある学校の事例ですが、その学校で忘年会だか新年会だかの計画が進んでいたそうです。校長は、日時の相談に幹事が来るものと思っていたのですが、何といつの間にか、場所、時間等を記した回覧が回ってきたのだそうです。幹事に尋ねたところ、いつもこのあたり日程でやっていたので…という返答だったとか。校長が忙しそうだから、良かれと思っての行動だったのかもしれませんが、これは社会人として、組織人としてアウトですね。



本校では、実践の最前線にいるみなさんに、「ラストマン」として自ら考え、判断し、行動するように言っています。私は、会社、特に最先端の企業等の運営を見ても、これからの組織・運営はそうあるべきだと考えます。ただ、忘れてほしくないのは、(これも何度も言っていますが)「報・連・相」です。実戦部隊だけが知っていて、あるいはそう動いていて、それをトップが知らないということは、組織として絶対にあってはいけないことです。

最悪を想定して言えば、報・連・相の義務があるにもかかわらず、部下が自分で判断して行動し、もし大変なことになった時、法律上誰が責任を取るのでしょうか。弁護士ではないのでわかりませんが、**最悪はあなたになります**。もちろんトップに責任があることは言うまでもありませんが、あなたの責任がゼロということにはたぶんなりません。浜田小学校のような運営をしている組織は、この「報・連・相」が欠かせないのです。**みなさんを守るために、絶対に必要なのです**。よろしく願います。

組織という感覚

飽海地区は、この感覚が弱いよう思います。悪く言えば「自己流」「自分勝手」「一匹狼」です。他地区と比べて、組織としての積み上げが難しいのも、こういうところに原因があるのではないかと考えています。

例えば、本校の事例を探すとすれば、前回の協議題となった廊下歩行です。もっと徹底しなければという認識のずれが大きいためののか、あるいはルールに対する解釈がまちまちなのか、なかなか徹底しませんでした。ここに来てようやく改善の兆しが見え始めたと思います。他にも、職員ネームや会議資料の前日配布も、**やると決めた以上、「もういいよ」となるまでは組織として徹底しよう**としなければなりません。これが**社会の常識**で、**会社(組織)の常識**だと思っています。

みなさんが、この先どの職場で働こうとも、こういった常識が身につけていけば、社会人として尊敬され、しっかりとした仕事ができいくと確信しています。